

企業概要

- 社名：テクノグローバル株式会社（大阪府） <http://www.techno-global.co.jp>
- 従業員数：34人 ■ 資本金：6百万円
- 売上高：4.1億円
- 事業内容：製品設計、金型製作、成形加工
- 知的財産：特許6件、意匠3件



微量重金属測定器（開発品）

相談のきっかけ

自社開発製品の事業化と知財支援

当社は、金型設計・成形加工事業で築いてきた技術を基に、自社製品を開発・事業化して、事業構造を変革・強化していく方針である。本方針の下、CT検査用穿刺針保持具、微量重金属測定器の開発を開始したので、開発・設計機能の拡充と並んで、知財面の強化が必要であった。

自社開発製品の開発と上市には経験外のことが多い

大学発シーズをベースにした本製品開発には、医療分野や理化学分野の専門知識が必要であり、上市にはマーケティング分野の経験が必要である。そこで各種専門家の活用が可能な本重点支援を通じて、専門家のサポートを得るのが有効と思った。

課題と支援の内容

注) 知財戦略アドバイザーは、INPITの専門人材です。

課題	支援のポイントと活用した専門家
製品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社開発品の製造・販売については、経験が浅いため、それらを行うための基本的な考え方や手法について支援する。 ・ 大学発アイデアを商品性観点からどの様に最短で最適な形にしていくか、開発の進め方について支援を行う。 ・ 製品性能や規格等商品化にかかる専門的知識を支援する。 <p>中小企業診断士</p>
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画、製品仕様を反映した知財戦略の策定について支援する。 ・ 知財戦略を基に、開発製品に関する特許出願及び意匠出願について支援する。 ・ 営業秘密管理、職務発明についての規程類の整備について支援する。 <p>知財戦略AD^注弁理士</p>
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との共同開発契約等の締結について支援する。 ・ 特に、共同開発の成果の帰属についての考え方について支援する。 <p>弁護士</p>

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
製品開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ CT検査時に使う穿刺針保持具部を開発できた。 ・ 微量重金属測定器については、開発終了段階まで進めることができた。また、テスト方法、取り扱い説明書、品質保証方法など、機器販売のための知識も深めることができた。 ・ デザインラボ・フクイを開設し、開発設計機能を強化することができた。
知財戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社開発の針保持具で特許登録1件、重金属関連で特許出願4件、意匠出願1件(意匠は自社出願)と自社製品に関する権利化網を構築することができた。 ・ 営業秘密管理規程及び職務発明規定を策定し、社内キックオフを実施、運用を開始することができた。
契約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪大学・県立奈良医科大との共同開発、共同出願に関し契約を締結でき、産学連携による活動を円滑に進めることができた。

社長の支援成果についてのコメント

大学発シーズをベースにした本製品開発には、医療分野や理化学分野、知財分野の専門知識が必要で、様々な分野の専門家による支援はなくてはならないことを痛感した。今後も技術開発を積極的に進めていくので支援頂けるようお願いしている。

リーダー： 西井克己（中小企業診断士）

支援担当者： 大野健造（大阪府知財総合支援窓口）